

平成 28 年 10 月 13 日
愛 媛 大 学

「防災・日本再生シンポジウム」を開催 大規模地震災害に学ぶ事前復興デザイン ー南海トラフ巨大地震に備えるー

このたび、愛媛大学防災情報研究センターは、国立大学協会共催による「防災・日本再生シンポジウム」を下記のとおり開催します。

21 世紀は自然災害の時代です。東日本大震災は日本国民に衝撃を与えました。しかし、南海トラフ巨大地震の被害規模は、東日本大震災の比ではありません。巨大地震災害発生に際しては、事前に復興デザインを検討しておくことが必要です。

本シンポジウムでは、過去の地震災害に学ぶことにより、南海トラフ巨大地震災害に対する事前復興デザインのあり方について皆様とともに考えてみたいと思います。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時:平成 28 年 11 月 2 日(水) 13:00~16:30

場 所:愛媛大学南加記念ホール(別紙参照)

プログラム:別紙のとおり

対 象:一般の方

定 員:先着 200 人(参加費は無料です)

参加申込方法:「防災・日本再生シンポジウム参加申し込み」と明記の上、所属、氏名、連絡先(TEL、e-mail)、意見交換会参加の有無を添えて、下記までメール又は FAX でお申し込みください。

締 切:平成 28 年 10 月 24 日(月)

駐 車 場:無(公共交通機関をご利用ください)

※伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」下車、北へ徒歩約 3 分

※報道機関の方で、車で取材に来られる場合は、正門警備員室で会社名等をご記入の上、来客用駐車場を利用してください。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学社会連携課

社会連携拠点チーム(塩出・泉)

TEL:089-927-8974/FAX:089-927-8820

Mail:kensien@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料 2 枚(本紙を含む)

「防災・日本再生シンポジウム」

大規模地震災害に学ぶ事前復興デザイナー—南海トラフ巨大地震に備える—

日 時： 平成 28 年 11 月 2 日(水) 13:00~16:30

プログラム：

13:00-13:10 開会挨拶 愛媛大学防災情報研究センター長 矢田部 龍一

13:10-14:00 基調講演 復興から描く地域デザイン
東京大学大学院工学研究科教授 羽藤 英二

14:00-15:30 特別講演 一大規模地震災害の復興事例と復興対応—

1.中越地震の復興デザインと課題

長岡技術科学大学大学院工学研究科教授 大塚 悟

2.The 2015 Gorkha Earthquake in Nepal and government' s response to the disaster and reconstruction plan

(2015 年ネパールゴルカ地震とネパール政府の対応および復興計画)

ネパール政府国会総務委員会事務局長 Gautam、 Bharat Raj

3. 公共機関の業務継続戦略と危機管理人材育成について

徳島大学大学院理工学研究部教授 中野 晋

15:30-16:20 総合討論 「巨大地震災害に向けた事前復興計画の重要性」

16:20-16:30 閉会挨拶 愛媛大学防災情報研究センター副センター長 吉井 稔雄
(閉会后、17 時 30 分から校友会館 1 階 haco にて意見交換会を開催します。会費 4000 円)

※会場：愛媛大学南加記念ホール（松山市文京町 3）

